

劇団東京乾電池公演「<sup>ほぎ うた</sup> 寿歌」関連企画 柄本明・嶋田健太 演劇ワークショップ

柄本明さん、香川県出身の俳優 嶋田健太さんと演劇を体験し、演劇について考えてみませんか？

講師 柄本明、嶋田健太

受講料 2,000円

とき 2012年12月15日(土) 15:00~17:00  
16日(日) 13:00~15:00

受付 受付期間:11月1日(木)から11月15日(木) 9:00~17:00  
申込書に必要事項をご記入の上、受講料を添えてご持参ください。  
定員に達し次第、受付を終了いたします。(先着順)  
※お電話でのご予約はできません。

※原則として2日間の参加となります。  
都合により1日しか参加できない場合はご相談ください。

ところ サンポートホール高松 第1リハーサル室

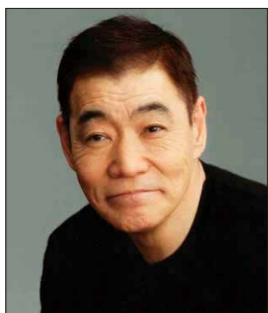
持ち物 上靴 ※動きやすい服装でご参加ください。

対象 中学生以上で、興味のある方ならどなたでも参加できます。  
※経験の有無は問いません。

その他 受講決定後の受講料は、理由の如何を問わず返金できません。  
書類の返却はいたしません。

定員 30名

講師プロフィール



柄本明

1948年11月3日生まれ。東京都出身。

自由劇場を経て、1976年劇団東京乾電池を結成。  
1998年「カンゾー先生」にて  
第23回報知映画賞 最優秀主演男優賞、  
第11回日刊スポーツ映画大賞 主演男優賞、  
キネマ旬報1998年度ベストテン主演男優賞、  
日本アカデミー賞 最優秀主演男優賞、  
2004年「花ドッペルゲンガー座頭市ほか」にて  
第58回毎日映画コンクール 男優助演賞を受賞。  
2005年「油断大敵」「カゲワレ的」「コトはハダ」にて  
第26回ヨコハマ映画祭 助演男優賞を受賞。  
2008年「やしきた道中 てれすこ」にて  
第31回日本アカデミー賞 優秀男優賞受賞。



嶋田健太

1977年7月25日生まれ。香川県出身。

国学院大学卒業。  
1999年劇団東京乾電池入団。  
特技「バレーボール」、「絵」。

劇団東京乾電池公演

「<sup>ほぎ うた</sup> 寿歌」

日時 2013年3月 9日(土)19:00開演  
3月10日(日)14:00開演

チケット 一般 4,800円 友の会 4,500円 全席指定

会場 第1小ホール

販売日 友の会 2013年1月 4日(金)  
一般 1月11日(金)

【作】木村想 【演出】柄本明 【出演】柄本明、角替和枝ほか 【助成】財団法人地域創造

ホール・ガイダンス

申込方法

- 窓口に、使用許可申請書に必要事項を記入してください。
- 会議室、和室、リハーサル室、練習室はサンポートホール高松施設予約管理システム(インターネット)より仮予約ができます。

※ホール、市民ギャラリー、コミュニケーションプラザは不可

<http://www.reserve-sunport-hall.jp/bunyusr/usr>

申込受付時間

- 施設利用のご相談 … 9:00~17:30
- 施設使用申請・お支払い・利用者登録 … 9:00~17:00

申込受付期間

使用日の1年前の月の初日から、使用日の前日まで。

受付の順位

原則として先着順です。  
ただし、受付開始日(毎月1日)については、抽選により順位を決定します。  
詳しくは「ご利用案内」や財団ホームページをご覧ください。

<http://www.sunport-hall.jp/>

さんぽーとCLUB

会員だけのうれしい特典やお得なサービスがいっぱい！  
1年中いつでも入会できます。

会員期間 1年間

会費 年会費 1,000円

特典 ★サンポートホール高松のプレイガイド窓口でのご購入に限りです。

●チケットに関する特典

- ・財団が指定するチケットを、一般発売に先立ち優先的に予約または購入できます。
- ・財団が指定するチケットを、原則上限20%割引をした会員価格で購入できます。  
※割引率は公演によって異なります。 ※会員価格で購入できるのは、会員お一人様5枚までです。

●入会時の特典

- ・入会と同時に、財団が指定するチケットを購入する場合、一般価格および学生価格から1,000円引きの価格で購入できます。  
※ただし、1,000円引きで購入できるチケットは1枚までとし、初回入会時のみとします。  
※1,000円引きでチケットを購入と同時に、会員お一人様4枚までを会員価格で購入できます。  
※1,000円引きの特典が適用されない場合もあります。

●その他の特典

- ・財団が発行する情報誌や、催し物案内等を定期的にお届けします。
- ・財団の主催事業で出演されたアーティストの記念品等を抽選でプレゼントします。

入会の手続き

●ご来館によるお申し込み

入会申込書に必要事項をご記入の上、年会費を添えて、サンポートホール高松のプレイガイド窓口にお申し込みください。

●現金書留によるお申し込み

入会申込書に必要事項をご記入の上、年会費を添えて、サンポートホール高松友の会事務局宛てに現金書留で郵送してください。

会員期間について

会員期間は、入会日から1年を経過した日の属する前月の末日までです。  
以後、会員期間を更新するときは、その翌月の初日から1年間とします。

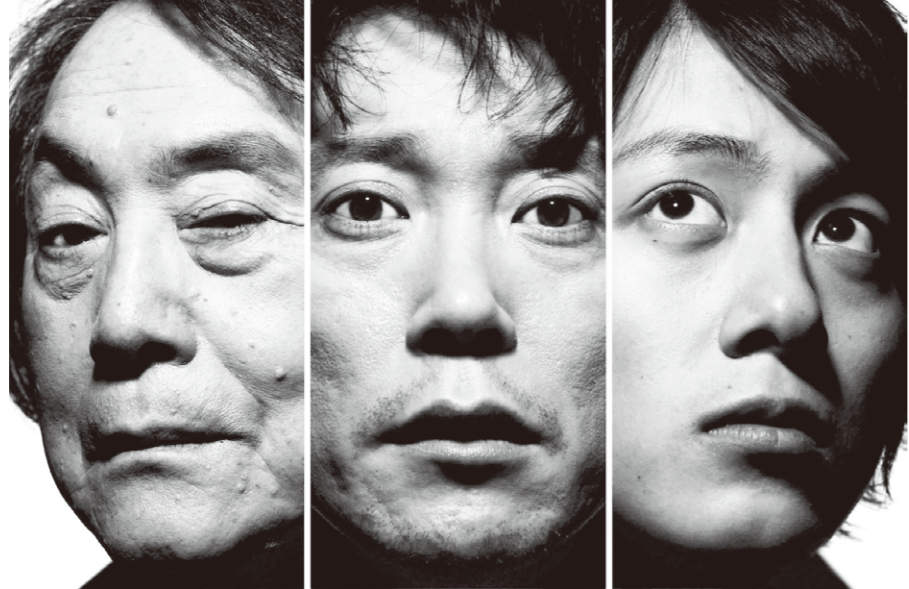


# Shalala

vol. 36

サンポートホール通信  
[季刊シャ・ラ・ラ]  
2012年秋号  
<http://www.sunport-hall.jp/>

- 二兎社公演 こんぱんは、父さん
- ISAMU
- 野村万作・萬斎 サンポート狂言会
- レポート 新国立劇場バレエ団 こどものためのバレエ劇場「シンデレラ」関連企画 親子で楽しめるバレエ・ワークショップ
- お客さまアンケートより
- 募集 劇団東京乾電池公演「寿歌」関連企画 柄本明・嶋田健太 演劇ワークショップ



# 二兎社公演 こんばんは、父さん

身辺や意識下に潜む問題をすくい上げ、現実の生活に直結したライブ感覚あふれる劇作を続けている劇作家・演出家の永井愛。卓抜なストーリー展開、人物造形の面白さ、軽妙なセリフ、今日的なテーマ設定などで定評があり、これまでも劇団二兎社を主宰して、多くの舞台を誕生させてきました。そのうち、テレビドラマ化された作品もあり、ご覧になった方も多いのではないのでしょうか。また、永井愛は、日本の演劇界を代表する劇作家の一人として海外でも注目を集めています。これまで、『時の物置』『萩家の三姉妹』『片づけたい女たち』『こんにちは、母さん』など多くの作品が、翻訳・リーディング上演されています。

最近では、『シングルマザーズ』『かたりの椅子』『歌わせた男たち』『書く女』『やわらかい服を着て』『パートタイマー秋子』などの作品があり、紀伊国屋演劇賞個人賞・鶴屋南北戯曲賞・岸田國士戯曲賞・読売文学賞・朝日舞台芸術賞秋元松代賞などを受賞しています。このうち、2006年『書く女』、2011年『シングルマザーズ』は、サンポートホール高松での上演も記憶に新しい作品です。

今秋、サンポートホール高松では、二兎社の舞台としては3作品目になる『こんばんは、父さん』を上演します。意欲的に創作に取り組み、良質な現代演劇を生み出してきた永井愛が初めて試みる異色の男性3人芝居です。

これまで印象的な“女性像”を観客に提示してきた永井愛が、初めて「男性」を正面から見据えた作品で、登場するのは、年齢も境遇も考え方もまるで違う男性3人。年代や職種も様々な男性たちを通して、日本を生きる男たちの“今”を描きます。そこからは、東日本大震災後の人々の生き方や、原発事

故の遠因となった組織の隠ぺい工作体質など、現代日本(おもに男性中心社会)の抱える様々な問題が浮かび上がってきます。

また、『こんばんは、父さん』では、その男性3人を演じる豪華な俳優陣も、見所のひとつでしょう。

1人目は、どんな役柄にもスリと入り込み、観る者を納得させてしまう魅力を持つ俳優、佐々木蔵之介。その芸名が、実家が洛中に唯一残る蔵元・佐々木酒造であることに由来するというのは有名な話です。サラリーマンを経て、俳優デビューし、現在はテレビドラマや映画・舞台などで活躍しています。二兎社の舞台への出演は、3回目となります。

『こんばんは、父さん』では、バブル期とその後の衰退を経験し、常に物事の裏を見てしまう40代の息子を演じます。

2人目は、「ジュノン・スーパーボーイ・コンテスト」で史上最多の40社の芸能事務所がオファーした歴代最多記録を持つ、溝端淳平。映画やテレビドラマ以外にも、バラエティ番組の司会などでテレビ出演も多い若手の人気俳優です。

この舞台では、最初から社会に何の期待も抱いていない20代のワーキングプアの若者を演じ、現代の閉塞感を体現します。

3人目は、演技派として数多くの舞台・テレビドラマに出演してきた平幹二郎。時代劇を中心に多くのドラマに主演し、陰影に富んだ格調の高い演技と、悲劇的人物を得意とする演技で、お茶の間でもお馴染みの俳優です。代表作『王女メディア』を始め、長年にわたり数多くの蜷川演出作品に主演し、人間の深い悲しみや怒りをたたえた演技で、国内外で高い評価を得てきました。ギリシャ悲劇やシェイクスピア作品などで知られる俳優と、日常をリアルに描く永井愛の作品との出会いに

興味は尽きません。

本作品では、集団就職で上京し、たたき上げで財をなした後、今では全てを失い、借金取りに追われる日々を送る70代の父を演じます。

この3人が偶然にも一堂に会し、それぞれが抜き差しならない事情を抱えつつ、さらなる危機に何とか対処すべく会話を始めます。その他愛ない会話の中から彼らの本音が見え隠

れし、それぞれの人生が浮かび上がります。まさに、年齢も経験も全く異なる3人の俳優により、年代の違う男たちの濃厚な一夜、「特別な一夜」が展開していきます。

これまでの二兎社とは色合いの異なるキャスティングと、永井愛による生きた台詞を、サンポートホール高松で、是非お楽しみください。

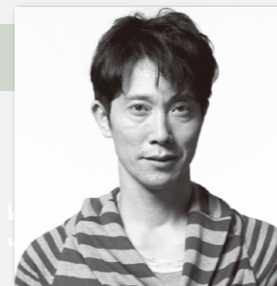
## 作品紹介

舞台は廃墟となった町工場。天窓から夕陽が差し込んでいる。金目のものは全て持ち去られた後らしく、残っているのは機械の台座や工具棚、配電盤、コードなど、ガラクたばかり。2階に通じる階段にも廃材が山積みになっている。

そこへ1人の男が入ってきた。窓から忍び込んだらしい。男は何の目的でこのような廃墟に来たのか？そして彼を追ってきた若い男は何者か？2人は口論を始めたようだ。いや、もう1人誰かいる。彼らは知り合いなのだろうか？

攻撃する者とされる者、求める者と拒絶する者、希望を語る者とそれを打ち砕く者——それぞれの立場や役割が入れ替わりながら、世代の異なる3人の男のやりとりが続く。夜が深まっていくにつれ、3人の抜き差しならない状況が明らかになり……。

## キャスト



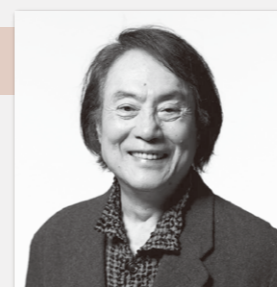
佐々木 蔵之介 (ささき くら の すけ)

京都府出身。劇団「惑星ピスタチオ」退団後、ケイファクトリーに所属。2009年から続くTVドラマシリーズ『ハンチョウ』で主役を務めるほか、『離婚弁護士』『医龍』(CX)等レギュラー出演多数。映画は『間宮兄弟』(森田芳光監督)『20世紀少年』(堤幸彦監督)など。舞台は、自らが立ち上げた演劇ユニット「Team申」で定期的に公演を行うほか、こまつ座、バルコ劇場、世田谷パブリックシアターなどの作品に出演。2010年『狭き門より入れ』(Team申)で読売演劇大賞優秀男優賞。二兎社は『新・明暗』(2002年・2004年)以来の参加。



溝端 淳平 (みぞばた じゅんぺい)

和歌山県出身。第19回ジュノン・スーパーボーイ・コンテストでグランプリ及びボルテージ賞を受賞。TVドラマ『BOSS』『新参者』に出演。『名探偵コナン(ドラマ)』では主演を務めるほか、『誰だって波瀾爆笑』では司会者としても活躍。映画『赤い糸』で第33回日本アカデミー賞優秀新人賞。舞台出演は『NECK』(河原雅彦演出)『スマートモテリーマン講座』(福田雄一脚本・演出)など。二兎社初参加。



平 幹二郎 (ひら みきじろう)

広島県出身。『王女メディア』『近松心中物語』『NINAGAWAマクベス』等、多くの蜷川幸雄作品に参加、海外でも高い評価を得る。自らが主催する「幹の会」ではシェイクスピア全作品の上演をライフワークにしている。1998年に紫綬褒章。2001年『グリークス』『テンベスト』で読売演劇大賞最優秀男優賞。2005年に旭日小綬賞、『ドレスサー』で紀伊国屋演劇賞個人賞。2009年『リア王』『山の巨人たち』で朝日舞台芸術賞アーティスト賞・読売演劇大賞最優秀男優賞。2010年『サド侯爵夫人』『イリアス』で菊田一夫演劇賞演劇大賞。二兎社初参加。

日時：2012年11月29日(木) 19:00開演(18:30開場) チケット：一般 5,000円 友の会 4,600円 **全席指定**  
会場：大ホール **好評発売中**  
【作・演出】永井 愛(二兎社主宰) 【出演】佐々木 蔵之介、溝端 淳平、平 幹二郎

# ISAMU

日 時: 2013年2月2日(土)・3日(日)  
 会 場: 第1小ホール  
 チケット: 一般 3,500円 友の会 3,200円 **全席自由**  
 発売日: 友の会 11月16日(金) 一般 11月23日(金・祝)

【演出】宮本 亜門  
 【脚本】倉持 裕  
 【企画制作】株式会社パルコ

## なぜ今、イサム・ノグチなのか…

世界的に有名な彫刻家イサム・ノグチが、そのアトリエを香川県高松市牟礼町に構えていたのはご存知でしょうか？プロダクト・デザイナーでもあった日系アメリカ人のイサムは、父の国日本と母の国アメリカの間で孤独に苦悩しながらも、東洋と西洋の精神がみごとに融合した多くの作品を残しています。現在も、イサム・ノグチ庭園美術館(牟礼町)でその作品に触れることができます。

そのイサムの人生に魅せられた現代の演出家があります。今年、演出家として25周年の節目を迎える宮本亜門です。ミュージカル以外にストレートプレイやオペラも手掛け、現在は神奈川芸術劇場<KAAT>の芸術監督としてもその手腕を発揮しています。

「ISAMU」では、イサムの地球規模の思想を、イサムが自身の作品を通して我々に伝え続けているものを、イサムの旅を通して現代の私たちに問いかけます。

## 2013年瀬戸内国際芸術祭へ向けたプレ公演

「ISAMU」は約3年をかけて作品を創作していきます。その第1クールとして、2011年11月に神奈川芸術劇場<KAAT>で、公開リーディングを行いました。今回、第2クールとして、イサムゆかりの土地である高松でワークショップ公演(2013年2月2日・3日)を行い、第3クールの最終公演は、2013年瀬戸内国際芸術祭の期間中に上演を予定しています。

今回、作品を創作する過程の一部をワークショップ公演として公開します。希少なこの公演を、是非お見逃しなく。

## PROFILE



【演出】  
 宮本 亜門(みやもと あもん)  
 神奈川芸術劇場<KAAT>  
 芸術監督、演出家  
 1958年1月4日生まれ 東京都出身

出演者、振付師を経て、2年間ロンドン、ニューヨークに留学。帰国後の1987年にオリジナルミュージカル「アイ・ガット・マーマン」で演出家としてデビュー。翌1988年には、同作品で「昭和63年度文化庁芸術祭賞」を受賞。ミュージカルのみならず、ストレートプレイ、オペラ等、ジャンルを越える演出家として、活動の場を国内外へ広げている。2004年に、ニューヨークのオンブロードウェイにて「太平洋序曲」を東洋人初の演出家として手がけ、2005年同作はトニー賞の4部門でノミネートされる。また、この年に上演したミュージカル「Into The Woods」の演出で、朝日舞台芸術賞の秋元松代賞を受賞。2007年に米・サンタフェオペラにてタン・ドゥン作曲の現代オペラ「TEA: A Mirror of Soul」(アメリカン・プレミア)を演出。2010年4月に神奈川芸術劇場<KAAT>の芸術監督に就任。6月にはロンドンのウエストエンドでミュージカル「ファンタスティックス」を上演した。2011年1月にオープンした神奈川芸術劇場<KAAT>のこけら落としとして、三島由紀夫原作の「金閣寺」を舞台化し、同年7月のNYリンカーン・センター・フェスティバルに正式招へいされた。2012年は、演出家になり25周年の節目として、デビュー作のオリジナルミュージカル「アイ・ガット・マーマン」を皮切りに、1月「金閣寺」NY凱旋公演(梅田芸術劇場/赤坂ACTシアター)、4月「耳なし芳一」(神奈川芸術劇場<KAAT>)、5月「サロメ」(新国立劇場)を演出。秋にはミュージカル「ウィズ〜オズの魔法使い〜」(神奈川芸術劇場<KAAT> / 梅田芸術劇場 / 東京国際フォーラム ホールC)、オペラ「マダムバタフライX」(神奈川芸術劇場<KAAT>)を予定している。

## イサム・ノグチ (1904—1988)

日系アメリカ人の現代彫刻家。20世紀が生んだ最も偉大な彫刻家のひとり。画家、インテリアデザイナー、造園家・作家、舞台芸術家でもある。

詩人 野口米次郎とアメリカ人作家 レオニー・ギルモアとの間にロサンゼルスで生まれ、日本で少年期を過ごしたのち渡米。初めボウグラムに彫刻を学び、1927年渡仏してブランクーシの助手となる。1938年ニューヨークのロックフェラー・センターAP通信社ビルで「報道の自由」を表現した大規模彫刻で高い評価を受ける。以来、公共彫刻やランドスケープ・デザイン、また舞台美術の分野で特異な活動を展開。

1941年、第二次世界大戦勃発に伴い、自ら日系人強制収容所に志願拘留されたが、アメリカ人との混血という理由から、日本人社会からも冷遇された。

戦後は日本でも陶器作品や、和紙を使った「あかり(Akari)」シリーズのデザインなどを行い、当時の前衛芸術家たちと交流する。その後、アメリカ国内外で、彫刻、モニュメント、環境設計を続け、文字通り「地球を彫刻した男」と呼ばれる。1951年、山口淑子(李香蘭)と結婚(1955年に離婚)。1956年から3年がかりで完成したパルコユネスコ本部の日本庭園(石庭)、1970年の大阪万国博覧会の噴水など、庭園の造形でも知られる。ユネスコ庭園への作品素材に庵治町・牟礼町で産出される花崗岩庵治石を使ったことをきっかけに、牟礼町にアトリエを構える。

1985年に完成したニューヨークのイサム・ノグチ・ガーデン・ミュージアム、牟礼町のアトリエを拠点に日米で活動が続いていたが、1988年ニューヨークで永眠。1999年作品とアトリエを公開するイサム・ノグチ庭園美術館が牟礼町に開館した。

# 野村万作・萬齋 サポート狂言会

## ぜひ知っておきたい狂言豆知識

サポートホール高松に3年ぶりに登場する「万作の会」。野村万作、野村萬齋という出演者の名前を見て、その舞台を一度は観てみたい!と興味を持った方も多いはず。「でも狂言を観るのは初めてで…」、「観に行っても意味がわかるか不安」など、なかなか足を踏み出せない方のために、狂言鑑賞がもっと楽しくなる、知って納得の狂言豆知識。



野村万作 野村萬齋

## これだけは知っておきたい狂言用語

- 【番組〈ばんぐみ〉】 プログラムのこと。
- 【曲〈きょく〉】 狂言の作品の数え方。\*使い方:今回の番組は2曲です。
- 【名乗り〈なのり〉】 登場人物が舞台上に登場して、最初に自分の名前を自己紹介したり、これからしようとしていることを話す。
- 【道行〈みちゆき〉】 能や狂言で、登場人物が別の場所に移動したり、時間経過などを諷いながら表現すること。
- 【狂言方〈きげんかた〉】 能や狂言の演者を能楽師といい、それらの中でさらに、シテ方、ワキ方、狂言を演じる狂言方(狂言師)に分けられる。
- 【シテ(仕手)〈して〉】 主役。能ではシテ方、狂言では狂言方が担当する。
- 【アド〈あと〉】 狂言のシテ(主役)に対する相手役。
- 【後見〈こうけん〉】 能、狂言の舞台上、紋付袴姿で舞台正面に向かって左後方奥に控え、舞台が滞りなく進行するように見守る。舞台前の演者の着付けの手伝いに始まり、舞台上に出る際の場幕の開閉、小道具の出し入れに加え、舞台上で演者に万が一のことがあれば代わって舞台を務める重要な役目。
- 【主〈しゅう〉】 狂言の代表的な登場人物。長く引きずった長袴ながばかの装束が特徴。
- 【大名〈だいまよう〉】 狂言に登場する大名は江戸時代のように名のある人物ではなく、家来は太郎冠者だけなど、あまりえらくない武士が多い。
- 【太郎冠者〈たろうがじや〉】 使用人、従者のこと。二人以上の従者が登場する場合は、年齢や位が上の者から順番に太郎冠者、次郎冠者と呼ぶ。狂言の代表的な登場人物で身分は低い。

## これで安心、狂言公演

**Q** “伝統芸能”と聞くと台詞が難しそうですが、ストーリーがわかりますか？

**A** 狂言は会話劇です。その言葉は、室町時代の人たちが日常で話していた言葉で、「室町口語」と言い、今の日本語の基礎になった言葉なのでとてもわかりやすく、現代の芝居に近いスタイルと言えます。演者は面を着けずに演じることが多く、曲の内容も、一般庶民の日常生活や滑稽な話を題材にした親しみやすいものです。ただ、もっと楽しむためには必ず目を通しましょう。狂言は基本的に音楽も大道具もなく、人だけで演じます。その分、台詞や擬音、足踏みの音などで表現することが多いため、「今は何を演じてるの?」とややもやが残ることも。ストーリーはわかりやすく明快ですが、あらずに目を通すことで曲の理解度がグッと上がります。また、当日お渡しするプログラムには、曲中に出てくる言葉の解説がありますので、開演までの時間にぜひお読みください。

**Q** 何を着ていけばいいかわかりません。洋服はNGでしょうか？

**A** 意外とみなさん心配されるのが服装です。「着物でない」と失礼なのは…と、それだけで尻込みされている方もいらっしゃるようです。実はまったくそんなことはありません。もちろん着物で来場されるお客様もいますので、思い切って狂言&着物デビューもいいのでは? せっかくの機会ですので、さりげなくお洒落してお出かけください。ただし、香水のつけ過ぎには要注意。

## これだけは守っておきたい鑑賞マナー

せっかくの名演技も、観客の中にひとりでも迷惑になる人がいれば、十分に楽しむことができません。ひとりの「ついうっかり」が、公演全体を台無しにしてしまうこともあります。みんながちょっと気をつけて、より深い感動体験を。

### 共の一 携帯電話、アラーム音などは必ず電源OFFに

ホールの中は音が響きます。携帯電話の振動音も予想以上に気になり、雰囲気壊してしまいます。開演前に必ず確認し、日常から解放されてゆったり鑑賞しましょう!

### 共の二 開演時間までに着席を

狂言公演では開演直前のアナウンスや、開演ベルが鳴ることはありません。予定されている開演時間までには着席し、演者の登場をお待ちください。開演後にバタバタと席を探す姿は、演者も観客も気になります。

### 共の三 撮影・録音は厳禁

公演中の撮影や録音は厳禁! ぜったいに許されない行為です。思い出として、記憶の中にしっかりと残してください。

### 共の四 意外と気になる鈴の音にも注意

音の出るアクセサリーや小物、特に鈴には十分注意してください。ほかにも船の包みを開ける音なども、自分が思っているより、周りの人には聞こえています。

日時: 2012年12月12日(水) 19:00開演(18:30開場) チケット: 一般 7,000円 友の会 6,600円 **全席指定**  
 会場: 大ホール **好評発売中**  
 【番組】「萩大名」「釣針」 【出演】野村 万作、野村 萬齋、石田 幸雄 ほか万作の会 【万作の会ホームページ】<http://www.mansaku.co.jp/>

# まもなく本ベル



## 開催データ

新国立劇場バレエ団  
こどものためのバレエ劇場  
「シンデレラ」関連企画

親子で楽しめる  
バレエ・ワークショップ

## 日時

▶2012年7月31日(火)  
①14:00 ②16:00 (各回約1時間)

## 会場

▶第1リハーサル室

## 参加者

▶県内の児童とその保護者  
①36名 ②35名

## 講師

- ▶新国立劇場バレエ団プリンシパル 湯川麻美子
- ▶新国立劇場バレエ団ソリスト 寺田亜沙子
- ▶新国立劇場バレエ団ダンサー 細田千晶
- ▶新国立劇場バレエ団ピアニスト 蛭崎あゆみ

## 新国立劇場ホームページ

▶<http://www.nntt.jac.go.jp/>

## Photo



## 7月31日(火) 小さなバレリーナたち

今日は、8月のバレエ公演「シンデレラ」に先がけてバレエのワークショップを開催しました。

「こんにちは…」リハーサル室の前で待っていると、おそろおそろ小さな声をかけてくる子どもたち。もっとリラックスしてね〜と心の中でエールを送ります。

今回のワークショップは初心者対象でしたが、中にはバレエを習っている子も参加していて、髪を小さくまとめ、バッグの中からバレエシューズを取り出し、小さな足にまよえば準備完了。



講師である湯川さんをはじめ3人のダンサーが登場した瞬間、空気が一変！子どもたちもそのオーラを感じ、表情がキリッと引き締まる子もいれば、間近で憧れのバレリーナを見てニコニコ笑顔の子、これから何が始まるのか緊張感でいっぱいの子、様々でした。

まずは足のポジションから。足は膝を曲げずにまっすぐ伸ばし、小指を浮かさないように。お尻をキュッと締め、一本の糸で頭から吊るされているイメージで、お腹と胸をグッと引き上げるように意識すると、これだけで普段の姿勢との差は歴然！

続いてはバレエの基本のポーズ。肘を少し曲げて両腕を下げ指先を腿の前に置く「アンバ」、そのまま両腕を上げた「アンオー」。そして、バレエと言えば思い浮かぶ「アラベスク」。片足で立ち、もう片方の足を後ろに上げるポーズです。どのポーズも足だけでなく、頭から指の先まで意識して、いかに「自分を美しく見せるか」を体感しました。

いよいよ「シンデレラ」の1シーンに挑戦です。シンデレラに魔法をかけた仙女が、夜12時の鐘が鳴る前に帰って来るのですよ、とシンデレラを舞踏会へ送り出す大切なシーン。

バレエには台詞がないので、踊りとともに手振りや表情で台詞を表す「マイム」という表現方法が加わるのですが、子どもたちはダンサーのお手本を真似て役になりきり、二人一組で仙女役、シンデレラ役を交互に演じます。なんと、今回のワークショップはピアノの生演奏。このシーンの「シンデレラ」の曲に合わせて、表情や視線にも気を配りながら何度も練習しました。



最後は、バレエのあいさつ「レヴェランス」。膝を少し曲げ上半身を前に傾けて、心を込めて優雅にお辞儀をします。ここまでくれば小さなバレリーナたちもホッとひと安心。見守っていたお父さん、お母さん、そしてスタッフにも可愛らしい微笑みを振りまいて、ワークショップは無事に終了しました。

頑張った子どもたちへ、講師を務めたダンサーからご褒美に踊りのプレゼントがありました。しなやかさと軽やかさ、そしてなにより間近で見る生の迫力に、参加者の全員が感動。すっかり引き込まれてしまって、一瞬拍手をするのも忘れていましたが、すぐに大きな拍手が響き渡りました。

子どもたちにとって、夏休みの大切な1日になったかな(^o^)/b

## お客さまアンケートより

### 5/5 こどもの日のこどものためのコンサート

- 毎年楽しみにしています。(E.I.さん)
- 家族でいろいろ工夫して楽しいものに仕上がっているように思います。特に、チビツ子ちゃんがかわいいですね。歌もきっちり歌っていましたネ。
- 前から来たいと思っていて、やっと実現でき、すごく嬉しいし、パワーをもらってよかったです。有難うございました。家族で歌うって素晴らしいこと。この会がいつまでも続くことをお願いします。(S.K.さん)



家族みんなで歌合戦 白井ファミリー

### 7/16 音楽の絵本 親子のためのクラシックコンサート

- 2年前に続けて2回目です。未就学児入場不可のコンサートが多いなか貴重な機会です。(Y.H.さん)
- 4歳と7歳の子どもと一緒に始めて聴きにきました。メンバーの個性が光っていて、笑いあり、聴かせる曲あり…。すごく楽しかったです。(T.S.さん)
- 最初の外のファンファーレが楽しかったです。入場退場のときも動きがキャラにあって楽しめました。いろんな演出で、隣の子どもがどんどん舞台上に釘づけになっていくのがおもしろかったです。(Y.K.さん)



### 8/26 新国立劇場バレエ団 こどものためのバレエ劇場「シンデレラ」

- 4歳の娘とすてきな公演を観られてよかったです。子どもと来られるものをたくさん企画してほしいです。(T.A.さん)
- 妖精の踊り、群舞のそりい具合を観て、バレエってこんなだったなあと思い出しました。オーケストラBOXがあればいいのに！と残念です。(Y.K.さん)
- 7歳の娘が楽しめました。初めて来たのですが、「こどものため〜」ということもあり、少々小声で説明してあげることもできました。開演時間もうれしいです。また来たいです。(S.N.さん)

